

新庁舎完成イメージ



新庁舎建設概要

- ◎建設地 中泊町大字中里字紅葉坂217番地1 ほか
- ◎建物延面積 4,239.08㎡(車庫棟488.25等を含む)
- ◎建物の構造 鉄骨造2階建
- ◎本体事業費 17億6千40万円
- ◎建設スケジュール 平成27年8月～平成28年12月
- ◎庁舎配置予定部署
総務課・財政課・町民課(保健センター職員を含む)・福祉課・税務課・会計課・農政課・環境整備課・水産観光課・農業委員会事務局・選挙管理委員会事務局・教育委員会・議会事務局
- ◎省エネ対策として、太陽光発電システム(10kW)を設置
- ◎災害時の電力確保のため72時間(3日間)連続運転可能な発電設備を設置

新庁舎配置図



くわ入れをする小野町長

8月28日(金)、建設地となる町総合文化センターパルナス敷地内で、新庁舎建設工事の安全祈願祭が執り行われました。

新庁舎建設工事が始まりました！

祈願祭には、町議会議員や町関係者のほか、設計・施工業者など約60人が出席し、町長による鍬入れや、出席者が玉串をささげて、工事の安全を祈りました。
祈願祭後のあいさつで町長は「約50年間にわたって行政拠点の役割を果たしてきた今の庁舎は、耐震性が懸念されている。また、防災拠点としての役割が庁舎には一層求められている。そういった問題を解決するとともに、ユニバーサルデザインや自然との調和など、町民の誰もがわかりやすく、使いやすく、親しみやすい庁舎を目指す」と、決意を述べました。
町の大計となるこの工事は、来年12月に完成の予定です。

【これまでの経緯】
現庁舎の耐震性、老朽化などの問題を解消するため、新庁舎建設を決定。平成25年6月に新庁舎建設検討委員会と庁内検討幹事会を立ち上げ、積み重ねた議論の末に、基本構想を平成26年1月に策定しました。同年6月に設計に係る指名型プロポーザル(専門性の高い建築設計を委託するとき、事業者を指名して企画提案書の提出を求め、選定する方法)を実施し、8月には「新庁舎建設設計選考委員会」を開催。(株)楠山設計が設計業者に選定され、平成27年6月には、実施設計書を作成しました。
新庁舎建設工事は、総事業費約20億円(設計・本体・備品・防災無線の移転などを含む)を見込んでおり、合併特例債や合併振興基金など有利な財源を充てる計画です。

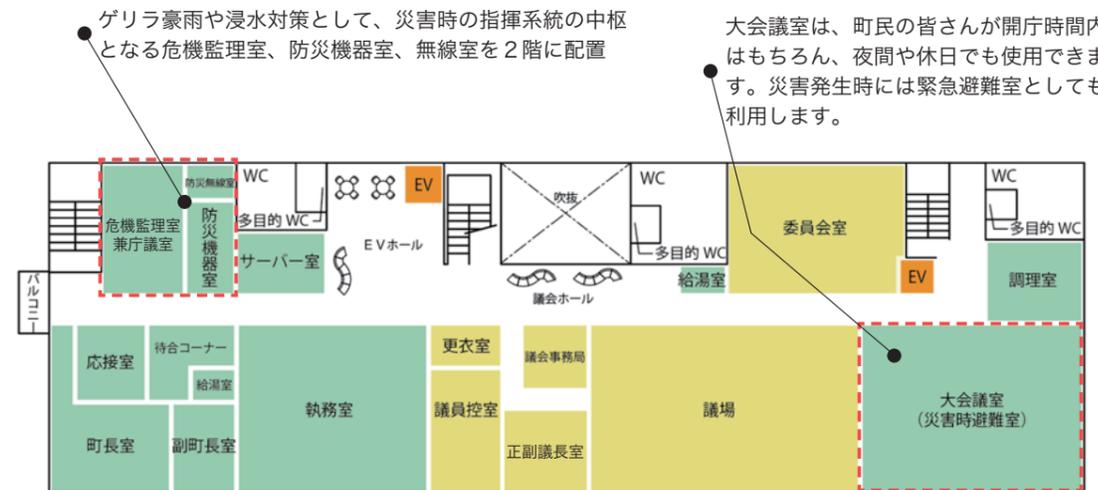
1階平面図

- 1階には、町民の皆さんの利用が多い窓口業務を集約、また、庁舎に気軽に来庁し、交流できる町民ホールを設置。
- 1階(配置部署)
町民課、税務課、会計課、福祉課、農政課、農業委員会、水産観光課、環境整備課、教育委員会



2階平面図

- 2階は、西側に執務室、東側に議場、大会議室を配置
- 2階(配置部署)
町長室など
総務課、財政課、議会事務局



ゲリラ豪雨や浸水対策として、災害時の指揮系統の中核となる危機監視室、防災機器室、無線室を2階に配置

大会議室は、町民の皆さんが開庁時間内はもちろん、夜間や休日でも使用できます。災害発生時には緊急避難室としても利用します。